



大和市立緑野小学校  
学校だより 1月号

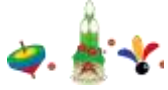
# みどりの



令和3年1月8日

3歩進んで2歩下がる

校長 稲葉 敦子



新年明けましておめでとうございます



昨年中は、新型コロナウイルス感染症予防、分散登校、創立50周年記念式典等、保護者の皆様、地域の皆様にたくさんのご協力をいただいたことに、あらためて感謝申し上げます。そして、いまだ収まらぬ新型コロナウイルスの勢いに、気を引き締めていかなければと思う中で3学期が始まりました。感染予防に努めながら、できることを一つ一つ進めていきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

この年末年始は、自粛ということであつたように外出することを控えた方も多かつたのではないかと思ひます。私も家でテレビを見て過ごすことが多かつた正月でした。紅白など歌番組は無観客、箱根駅伝も応援する人はごくわずかと、密にならない形をとつて行われました。それでも、中止になるよりは行くことができると思ひました。

さて、そのテレビを見る中で、水前寺清子さんという歌手が出演されている番組がありました。久しぶりに拝見する水前寺さんは、昔と変わらぬ明るい笑顔と飾り気のない気さくな人柄で、見ていると自分も笑顔になり元気が出ると感じました。水前寺さんの歌の中に、私が小学生の頃流行つた「365歩のマーチ」という歌があり、久しぶりに聞きました。今から50年位前に流行つた歌なので、知らない方も多ひと思ひますが、歌いだしは「♪幸せは歩いて来ない だから歩いて行くんだね 1日1歩 3日で3歩 3歩進んで2歩下がる…♪」という歌詞です。

当時「3歩進んで 2歩下がる」という歌詞が面白くて、学校帰りに3歩進んで2歩下がつて歩いたりしました。結局1歩しか進んでいませんが、辛いことがあつてもくじけず前を向いて、元気を出して1歩1歩歩いて行こうという歌です。甲子園行進曲にもなつたので、とても流行つた歌であることが分かります。この「3歩進んで 2歩下がる」が、子どもの成長と重なると思ひました。子どもの成長は、できるようになつたかなと思つるとできなくなつたり、それでも繰り返してしているうちにできるようになつたりと、進んだり後戻りしながら振り返つてみると成長していることに気がつきます。その歩みと似ていると思ひました。1日1歩でも1年たつたら365歩も進んでいます。子どもは、毎日会っていると特に変わりはないように見えますが、クラスを担当して4月に会つた子どもたちと1年たつて3月の頃の子どもたちを比べると、こんなことができるようになったとその成長を感じます。それが、私たち教員の喜びでもあります。

今年も進んだり戻つたりしながら、1歩1歩進む1年になるよう前を向いて歩きたいと思ひます。